

オオムラビジネス カンファレンスの開催を！

北村 貴寿 議員



先般、大村市中小企業振興会議からあった人材確保や人材育成等に関する提言を新年度の施策に反映していただきたい。市内事業所の合同研修会、異業種交流会、学生や保護者を巻き込んだ相談会などさまざまな事業が考えられるが、総称を「オオムラビジネスカンファレンス・オオムラ・ビジカン」として開催してはどうか。

来年度からの 農林水産業務について

城 幸太郎 議員



来年度から実施される機構改革において、農林水産部と商工観光部は統合され、産業振興部となる計画がある。第5次大村市総合計画には、「魅力ある農林水産業の振興」が掲げられていることから、課長職は重要なポストになるため、選任に際しては十分に配慮する必要があるが、どのように考えているのか。

A 大村市中小企業振興会議からの提言に対しては、官民が連携して取り組む必要があると考えており、来年度から実施する予定で予算を含め検討を進めている。また、「オオムラビジネスカンファレンス・オオムラ・ビジカン」については、ネーミングも含め、今後研究し、来年度に向け制度設計を固めていきたい。

A 来年度に新設する産業振興部に限らず、課長職については、意欲や能力、適性、希望等を十分に考慮し、適材適所の人事配置となるように努めたい。

就学援助の支給時期を 早めてほしい

宮田 真美 議員



毎年5月に支給されている就学援助の新入学用品費を、入学式間に合うように3月の支

教育・文化・スポーツ

給としてほしい。現行では、必要な学用品等を先に購入しなければならず、経済的な負担が大きい。子どもたちが等しく教育を受ける権利を行政は保障すべきである。南島原市も実施を予定している就学援助の新入学用品費の3月支給を求める。

A 新年度における就学援助の新入学用品費については、5月の支給で準備を進めているが、3月に支給をしている自治体があることは承知している。今後は、そのような自治体の対応状況や課題等を調査し、整理した上で方向性を出したい。

歴史教育とモニュメントや 記念碑について

中瀬 昭隆 議員



後世に残るモニュメントや記念碑は、極めて慎重に検証や検討をした上で制作しないと、誤った歴史観を植えつける恐れがある。市内のある小学校で制作されたモニュメントについて、どのような団体が発案し、どのような過程を経て、どのような検証がなされ、教育委員会が許可したのか尋ねる。

A 当該モニュメントについては、学校の平和教育活動の中で、子どもたちから出されたアイデアによるもので、昨年4月に保護者の有志で結成された会において、歴史資料の収集や調査研究に基づき会報の発行等を経て、制作されたものである。設置に当たっては、教育委員会の許可ではなく、学校教育の一環として、校長が判断したものである。

都市整備

新幹線建設について

村上 信行 議員



現在開発中のF^{注1}GT（フリーゲージトレイン）について、国土交通省は問題があるため、安全性や安定性、経済性の検討結果等の取りまとめを来年の夏に先送りされた。仮にF^{注1}GTが完成しても、その最高速度270キロに対し、山陽新幹線は最高300キロで運転しているため、ダイヤに混乱が生じ、乗り入れは不可能との見解がJR西日本から出された。長崎〜東京間を往復できないと、新幹線の意味はないが、沿

